

プルースト

「失われた時を求めて」
文学と音楽が交差するところ

架空の楽曲 ヴァントウイユのソナタをめぐる考察
レイナルド・アーンのヴァイオリン・ソナタが語るもの

2023/1/28(土)

14:00~16:00

講師 ◆ 小林 美恵 (ピアノ:宮川知子)

受講料 ◆ 3,050円 定員 ◆ 45名 会場 ◆ 学園創立50周年記念館ホール

内容 ◆ マルセル・プルーストの小説「失われた時を求めて」に登場するヴァントウイユのソナタ(架空の楽曲)の描写に触れ、プルーストと親交があり、後にヴァントウイユのソナタをイメージして書いたといわれるレイナルド・アーンのヴァイオリン・ソナタを実演しながら、文学と音楽の関係、また作家や作曲家が音楽の存在をどう捉えていたかを探ります。

♪ 講師紹介 小林 美恵(ヴァイオリン/昭和音楽大学客員教授) Mie Kobayashi

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学を首席で卒業。在学中に安宅賞、福島賞を受賞。1990年、ロン＝ティボー国際コンクールヴァイオリン部門で日本人として初めて優勝。以来、日本を代表するヴァイオリニストとして活躍。これまでに、国内の主要オーケストラ、ハンガリー国立交響楽団、プラハ交響楽団と共演し、充実した演奏を高く評価された。また、静岡のAOI・レジデンス・クワルテットのメンバーをはじめ、数多くの共演者と室内楽でも活躍。2010年には、ロン＝ティボー国際コンクールのヴァイオリン部門の審査員として招かれた。2015年デビュー25周年は、2017年までに6回の記念リサイタルシリーズを企画・好演。2018年からHakuju Hallにてヴァイオリンの魅力に迫る全6回のリサイタルシリーズを行い好評を博した。CDは「J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ(全曲)」等多数リリース。使用楽器は昭和音楽大学所有の1734年製ストラディヴァリウス。現在、昭和音楽大学客員教授。愛知県立芸術大学でも後進の指導にあたっている。
オフィシャル・ホームページ: <http://miekobayashi.com/>

♪ 上記以外にも楽しい講座を沢山ご用意しております。お気軽にお問合せ下さい。♪

お問合わせ
お申込み先

東邦音楽大学エクステンションセンター

〒112-0012 東京都文京区大塚4-46-9 Tel.03-3946-9667 Fax.03-3946-2455 <https://www.toho-music.ac.jp/>